



CO₂削減に向け 帯広の森で植樹

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は10日、帯広市郊外にある帯広の森で植樹をし、オフィス部門を中心にした従業員50人が、CO₂削減に向けて汗を流した。写真。

ISO14001の認

など8種類の苗木200本を用意。植樹方法などの説明後、グループに分かれ、1000平方以上の敷地に植えた。

同社では「植えた木は、今後下刈りなどもして大きく育てたい」（高道伸常務）と話している。来賓の三瓶孝則帯広市都市建設部みどりの課長も「森づくりに参加してもらえてうれしいし、維持管理を続けてくれるのは

証取得企業として「建設現場以外でも効果的な環境対策を」と企画した。アカエゾマツやミズナラ、カシワ

助かる」と喜んでいた。